

定例記者懇談会次第

令和元年 8 月 26 日（月） 午後 1 時 15 分
牧之原市役所榛原庁舎 5 階庁議室

1 開 会

2 市長説明

最近の市政運営の状況について

令和元年 9 月 牧之原市議会定例会市長提出議案について……………資料 1

平成 30 年度わかりやすい一般会計決算参考資料について……………資料 2

令和元年度牧之原市一般会計補正予算案（第 2 号）について……………資料 3

海水浴場等の入込状況について……………資料 4

3 その他主な報道提供資料

○牧之原市議会による田沼意次侯生誕 300 年に向けた取り組み（応援）について

○田沼家菩提寺勝林寺交流事業について

○田沼街道を走る藤枝相良線沿線の風景写真コンテストについて

○～世界にひとつだけの花を咲かそう～

「育種寺子屋 まきのはら校」発表会・閉校式について

○こうみんかんまつりの開催について

○自殺予防週間街頭キャンペーンについて

○ハンセン病写真パネル展『するが』～富士のすそ野に生きて～

○2020 年東京五輪事前キャンプ等に関する USA サーフィンとの協定締結について

○第 15 回全日本大学フットサル大会優勝の凱旋訪問

4 懇 談

5 閉 会

次回記者懇談会 9 月 30 日（月） 午後 1 時 15 分～

令和元年 9 月 1 日付 牧之原市人事異動内示

(牧之原市総務部総務課)

1 組織の改編

(1) 室の設置

産業経済部「商工企業課」内に、「企業立地室」を設置し、スズキ株式会社の工場拡張に効果的な支援を行うとともに、企業誘致、企業立地の促進を図る。

(2) 係の改編

①産業経済部「商工企業課企業立地係」を「商工企業課企業立地室企業立地係」に編入。企業誘致、企業立地を強力に推進。

2 人事異動の概要

令和元年 9 月 1 日付 人事異動

(新 任)	(氏 名)	(旧 任)
参事職(6 級)異動		
市民生活部市民課長兼国保年金係長	高 塚 明 男	市民生活部市民課長
総括主幹職(5 級)異動		
企画政策部秘書政策課長兼政策推進係長	竹 内 英 人	企画政策部秘書政策課長
市民生活部市民課総括主幹	内 藤 治 彦	産業経済部商工企業課商工振興係長
産業経済部商工企業課企業立地室長兼企業立地係長	山 本 英 広	企画政策部秘書政策課政策推進係長
総括主幹職(4 級)異動		
産業経済部商工企業課商工振興係長	福 代 学	産業経済部商工企業課企業立地係長
総括主任職(3 級)異動		
産業経済部総括主任 (商工企業課企業立地室)	増 井 麻 奈 美	産業経済部総括主任 (商工企業課)
主任職(3 級)異動		
産業経済部主任 (商工企業課企業立地室)	日 野 剛 久	企画政策部主任 (秘書政策課)
産業経済部主任 (商工企業課企業立地室)	清 水 海 里	産業経済部主任 (商工企業課)
主事職(1 級)異動		
産業経済部主事 (商工企業課兼商工企業課企業立地室)	増 田 真 也	産業経済部主事 (商工企業課)

令和元年 9 月 牧之原市議会定例会市長提出議案について

決算認定 7 件 補正予算 3 件 条例制定 4 件 条例改正 7 件
そ の 他 1 件 (合計 22 件)

認定第 1 号 平成 30 年度牧之原市一般会計歳入歳出決算の認定について

＜財政課＞

平成 30 年度牧之原市一般会計歳入歳出決算について、監査委員の審査の意見を付し、議会の認定を求める。歳入は 218 億 7,618 万 1,594 円、歳出は 207 億 5,622 万 5,464 円で、翌年度へ繰り越すべき財源を差し引いた歳入歳出差引残額は 9 億 7,270 万 7,130 円となった。

【議決予定日：10 月 3 日】

認定第 2 号 平成 30 年度牧之原市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について

＜市民課＞

平成 30 年度牧之原市国民健康保険特別会計歳入歳出決算について、監査委員の審査の意見を付し、議会の認定を求める。歳入は 54 億 5,367 万 5,579 円、歳出は 52 億 3,258 万 1,932 円で、歳入歳出差引残額は 2 億 2,109 万 3,647 円となった。

【議決予定日：10 月 3 日】

認定第 3 号 平成 30 年度牧之原市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について

＜市民課＞

平成 30 年度牧之原市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算について、監査委員の審査の意見を付し、議会の認定を求める。歳入は 4 億 8,007 万 7,860 円、歳出は 4 億 7,931 万 1,760 円で、歳入歳出差引残額は 76 万 6,100 円となった。

【議決予定日：10 月 3 日】

認定第 4 号 平成 30 年度牧之原市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について

＜長寿介護課＞

平成 30 年度牧之原市介護保険特別会計歳入歳出決算について、監査委員の審査の意見を付し、議会の認定を求める。歳入は 43 億 4,670 万 2,484 円、歳出は 41 億 8,420 万 721 円で、歳入歳出差引残額は 1 億 6,250 万 1,763 円となった。

【議決予定日：10 月 3 日】

認定第 5 号 平成 30 年度牧之原市土地取得特別会計歳入歳出決算の認定について

＜管理情報課＞

平成 30 年度牧之原市土地取得特別会計歳入歳出決算について、監査委員の審査の意見を付し、議会の認定を求める。歳入歳出ともに 24 万 3,114 円となった。

【議決予定日：10 月 3 日】

認定第6号 平成30年度牧之原市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について **＜お茶振興課＞**

平成30年度牧之原市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算について、監査委員の審査の意見を付し、議会の認定を求める。歳入は、1,277万1,887円、歳出は1,158万7,777円で、歳入歳出差引残額は118万4,110円となった。【議決予定日：10月3日】

議案第41号 平成30年度牧之原市水道事業会計の利益の処分及び決算の認定について **＜水道課＞**

平成30年度牧之原市水道事業会計の未処分利益剰余金を処分することについて議会の議決を求めるとともに、決算の認定を求める。収入決算額は10億6,164万1,019円、支出決算額は9億8,054万1,086円で、消費税を抜いた損益計算においては、5,981万7,572円の純利益となった。

平成30年度の未処分利益剰余金5,981万7,572円については、建設改良積立金へ積み立てることで処分する。【議決予定日：10月3日】

議案第42号 牧之原市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の制定について **＜総務課＞**

令和2年4月から、臨時又は非常勤の職員が会計年度任用職員に改正されることに伴い、会計年度任用職員に関する給与及び費用弁償について条例を制定する。

【議決予定日：10月3日】

議案第43号 牧之原市職員の分限に関する条例及び牧之原市職員等の旅費に関する条例の一部を改正する条例 **＜総務課＞**

成年被後見人等の権利に係る措置の適正化等を図るための関係法律の整備に関する法律が6月14日に公布されたことに伴い、成年被後見人等を一律に排除する規定（欠格条項）が地方公務員法から削除されたことから、関係条例の改正を行う。

【議決予定日：10月3日】

議案第44号 牧之原市職員の勤務時間、休暇等に関する条例及び牧之原市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例 **＜総務課＞**

令和2年4月から、臨時又は非常勤の職員が会計年度任用職員に変更となることに伴い、関係条例の改正を行う。

【議決予定日：10月3日】

議案第45号 牧之原市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例 **＜総務課＞**

成年被後見人等の権利に係る措置の適正化等を図るための関係法律の整備に関する法律が6月14日に公布されたことに伴い、成年被後見人等を一律に排除する規定（欠格条項）が地方公務員法から削除されたこと及び、令和2年4月から、臨時又は非常勤の職員が会計年度任用職員に変更となるため、条例の改正を行う。

【議決予定日：10月3日】

議案第４６号 牧之原市特別職の職員の給与の特例に関する条例等を廃止する条例の制定について **<総務課>**

市長等の給与等を期間を指定して減額等を行う各条例について、条例に規定する期間が経過していることから、各条例を廃止する。 【議決予定日：１０月３日】

議案第４７号 牧之原市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例 **<防災課>**

成年被後見人等の権利に係る措置の適正化等を図るための関係法律の整備に関する法律が６月１４日に公布されたことに伴い、成年被後見人等を一律に排除する規定（欠格条項）の削除が必要になったことと併せて、本文中の語句を地方公務員法と同様とするよう条例の改正を行う。 【議決予定日：１０月３日】

議案第４８号 牧之原市印鑑条例の一部を改正する条例

<市民課>

女性活躍推進の観点から、住民基本台帳法施行令が改正され、令和元年１１月５日から、住民票及び個人番号カードに旧氏の併記の記載を求めることが可能となった。これに伴い、住民票に記載された旧氏について、印鑑登録や印鑑登録原票及び印鑑登録証明書に記載できるよう条例の改正を行う。 【議決予定日：１０月３日】

議案第４９号 牧之原市老人会館条例を廃止する条例の制定について

<社会福祉課>

老人会館は、高齢者等の福祉事業を行うための活動拠点として利用されてきたが、雨漏り等老朽化が著しく、また、津波浸水区域に立地していることから、本年度において解体することにより、本条例を廃止する。 【議決予定日：１０月３日】

議案第５０号 牧之原市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担に関する条例の一部を改正する条例 **<子ども子育て課>**

令和元年１０月から実施される「幼児教育・保育の無償化」に伴い、子ども・子育て支援法が改正されたため、同法からの引用部分について改正を行う。

【議決予定日：１０月３日】

議案第５１号 牧之原市森林環境譲与税基金条例の制定について

<農林水産課>

森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律第３４条の規定に基づき、牧之原市が実施する森林の整備及びその促進に関する施策の財源に充てるため、基金を設置したいので、条例を制定する。 【議決予定日：１０月３日】

議案第５２号 牧之原市水道事業給水条例の一部を改正する条例

<水道課>

「水道法施行令」が改正されたことに伴い、当該政令を引用している箇所について改正を行う。 【議決予定日：１０月３日】

議案第５３号 令和元年度牧之原市一般会計補正予算（第２号）

<財政課>

令和元年度第2回目の補正予算として編成するもので、児童福祉施設等への防犯カメラの設置や3歳以上第3子以降の副食費の無償化による多子世帯支援、自主運行バス用のマイクロバスの購入、高齢者運転免許自主返納支援事業助成金の創設、相良図書館の整備拡充による図書館機能の充実、物産センター直営期間延長に係る経費などが主な内容となっている。

現 計 予算額 20,383,996 千円

今 回 補正額 230,077 千円

補正後 予算額 20,614,073 千円

【議決予定日：10月3日】

議案第54号 令和元年度牧之原市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）

<市民課>

今回の補正内容は、歳出では平成30年度決算に伴う繰越金の予備費への計上と、保険給付費の増額及び県負担金に超過額が生じたことによる精算金の増額、歳入では前年度の決算に基づく繰越金及び国民健康保険税の本算定結果を計上するもので、歳入歳出ともに1億5,136万2千円増額し、補正後の予算総額を53億2,672万4千円とするもの。

【議決予定日：10月3日】

議案第55号 令和元年度牧之原市介護保険特別会計補正予算（第2号）

<長寿介護課>

今回の補正の主な内容は、平成30年度決算に伴う繰越金の基金積立と国・県・市等への負担金に超過額等が生じたことによる精算等の増額で、歳入歳出ともに1億6,466万6千円増額し、補正後の予算総額を45億8,379万9千円とするもの。

【議決予定日：10月3日】

議案第56号 牧之原市指定金融機関の指定について

<会計課>

牧之原市指定金融機関は、平成26年4月1日よりスルガ銀行及び静岡銀行による交替制となっており、本年度末で現指定金融機関である静岡銀行の指定期間が満了となるため、令和2年4月1日から令和5年6月30日までの3年3ヶ月間、スルガ銀行を指定金融機関とすることについて議決を求める。

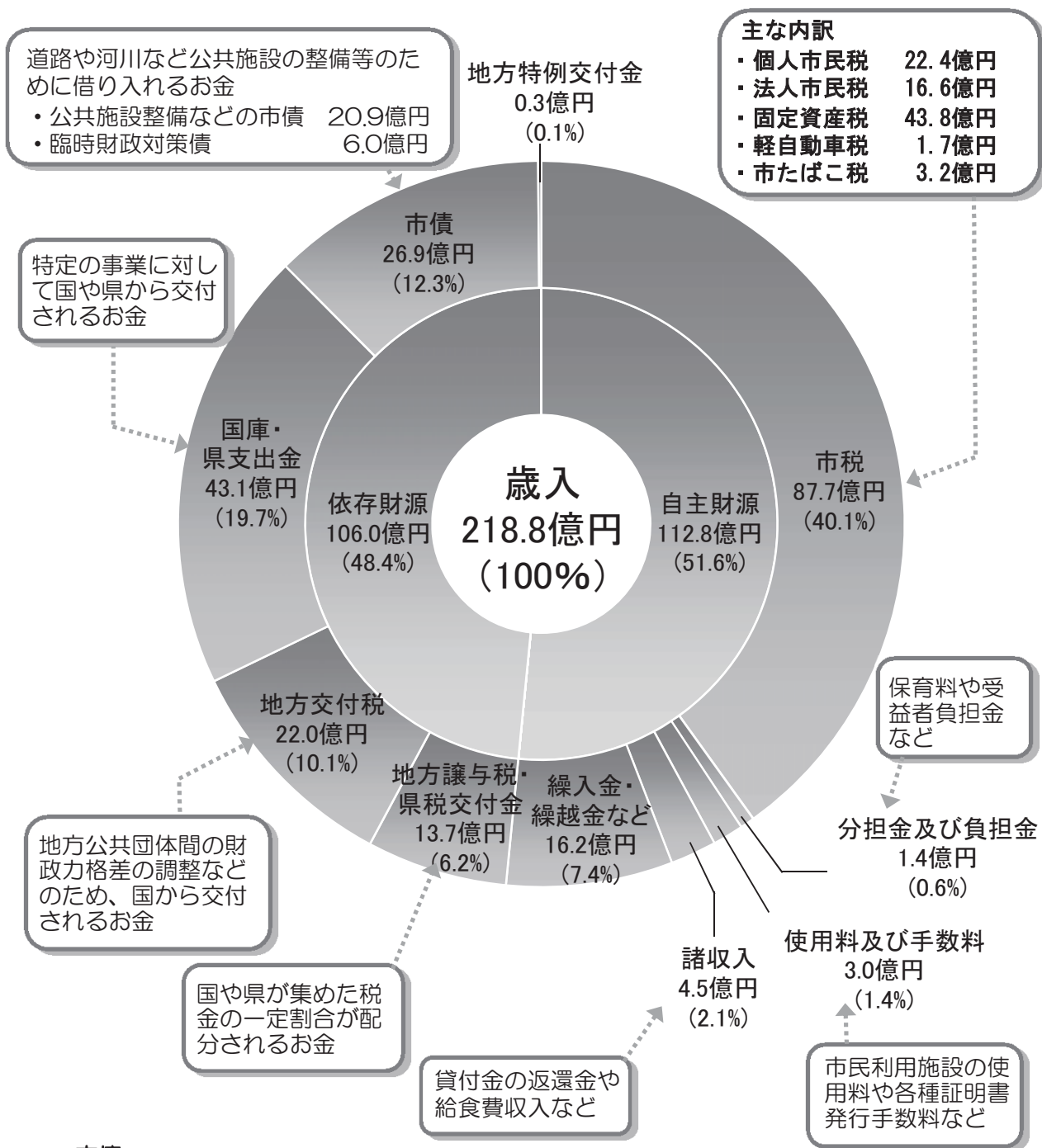
【議決予定日：10月3日】

議会日程			
9月	2日（月）	本会議	提案説明、総括質疑
	12日（木）	本会議	通告質疑－委員会付託
	17日（火）	本会議	一般質問
	18日（水）	本会議	一般質問
	19日（木）	本会議	一般質問（質問者が13人以上の場合）
	24日（火）	委員会	決算連合審査
	25日（水）	委員会	決算連合審査
	26日（木）	委員会	決算連合審査
	27日（金）	委員会	補正予算連合審査、付託議案審査
10月	3日（木）	本会議	委員長報告－審議－採決

◆ 平成30年度 わかりやすい一般会計決算参考資料

定例記者懇談会 資料No2
令和元年8月26日
企画政策部財政課
0548-23-0054

歳入(収入)について

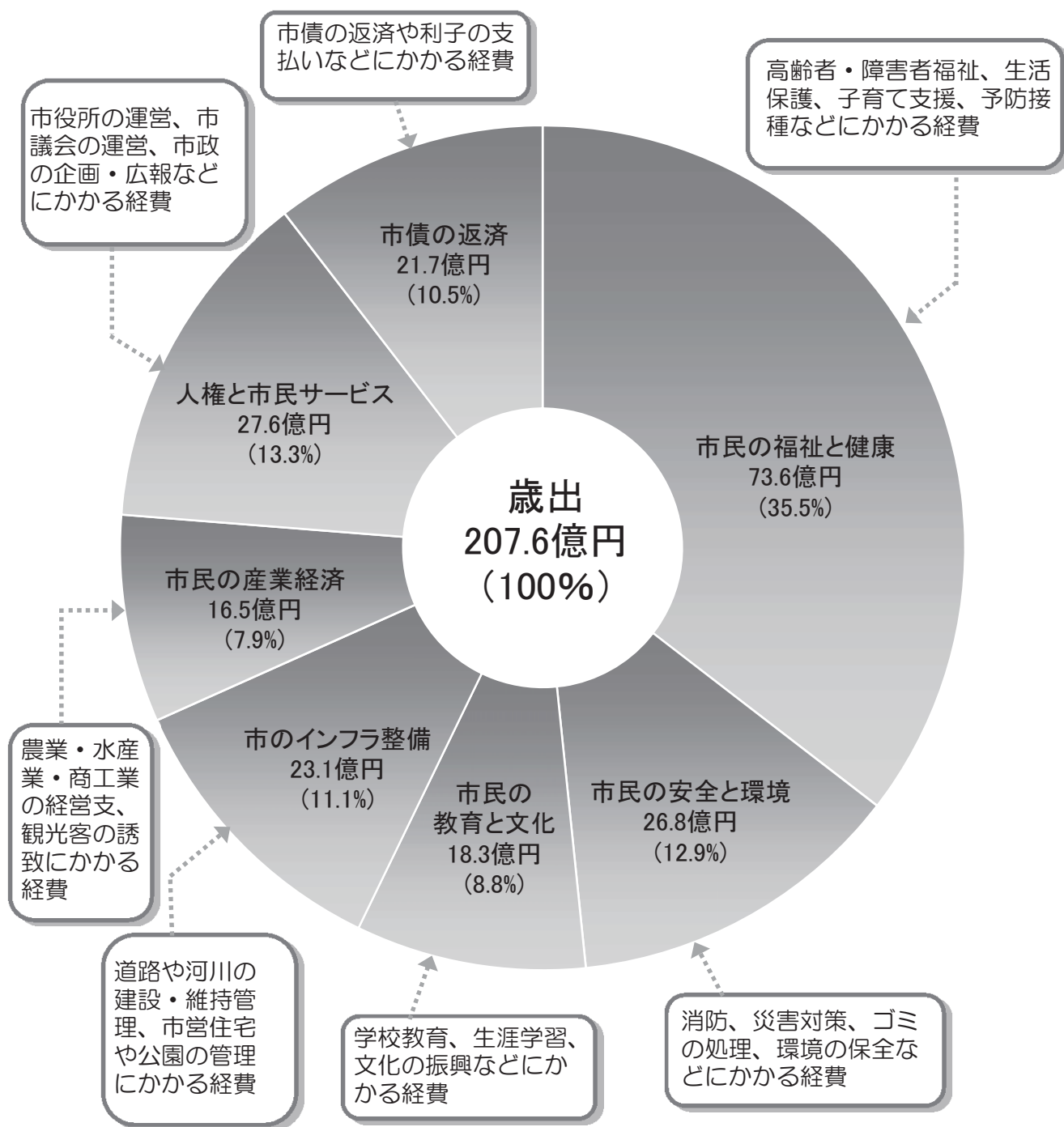


市債

市の施設は将来にわたって長期間使われるため、その整備費については今の市民だけでなく、将来の市民にも公平に負担してもらうという考えで市債を活用しています。しかし、借入れに際しては、実質公債費比率の増加を抑えるため、交付税算入がある有利な起債を選択して借入れを行っています。

また、このほか標準的な行政サービスを維持するため、国が交付税として交付できない分を地方公共団体が肩代わりする臨時財政対策債も借入れています。

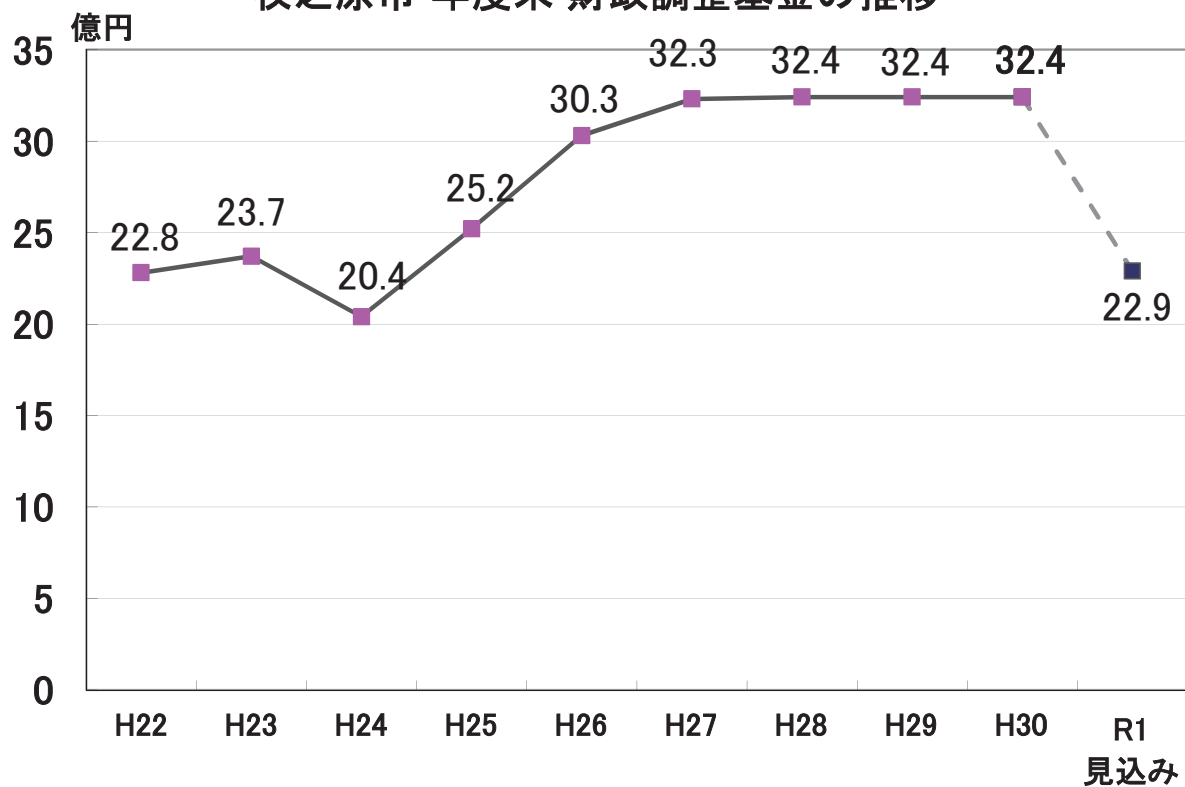
歳出(支出)について



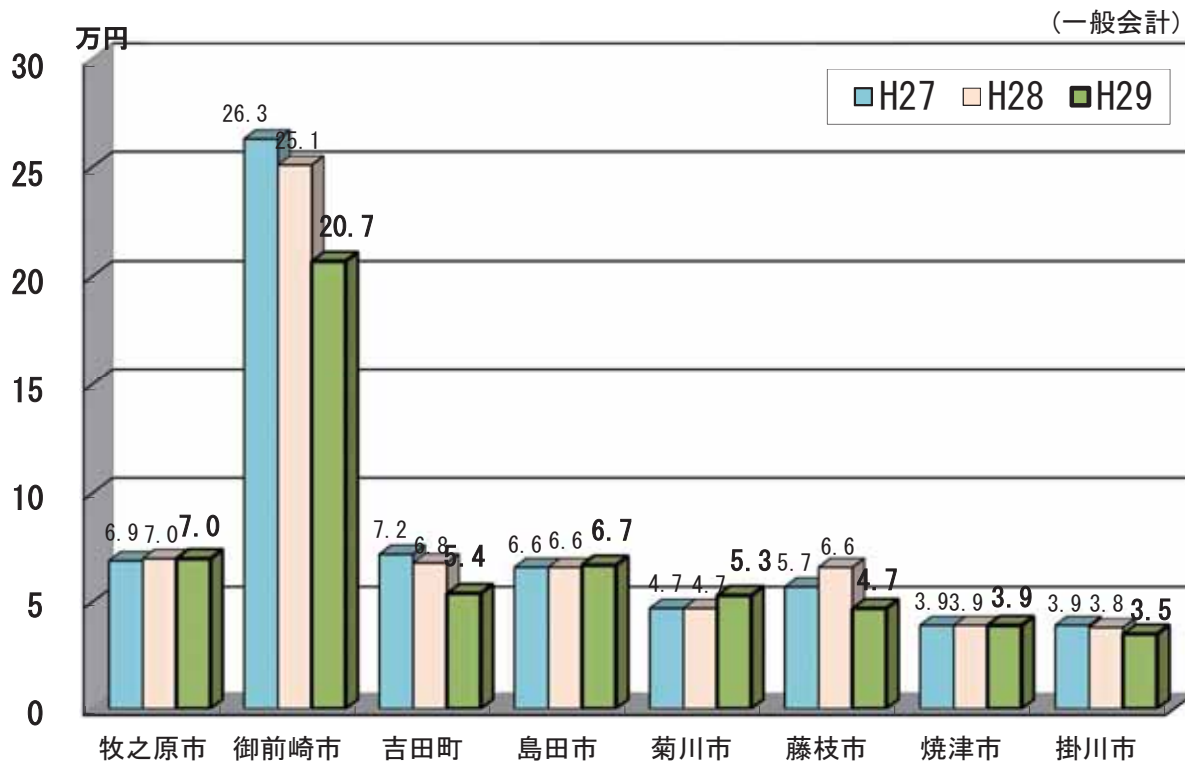
一般会計予算を市民一人あたりに換算すると、45万1,320円になります。
 (平成29年度 40万9,100円)
 特別会計を含めた全会計では、66万6,757円です。

※ 平成31年1月1日現在人口 45,990 人(外国人含む)

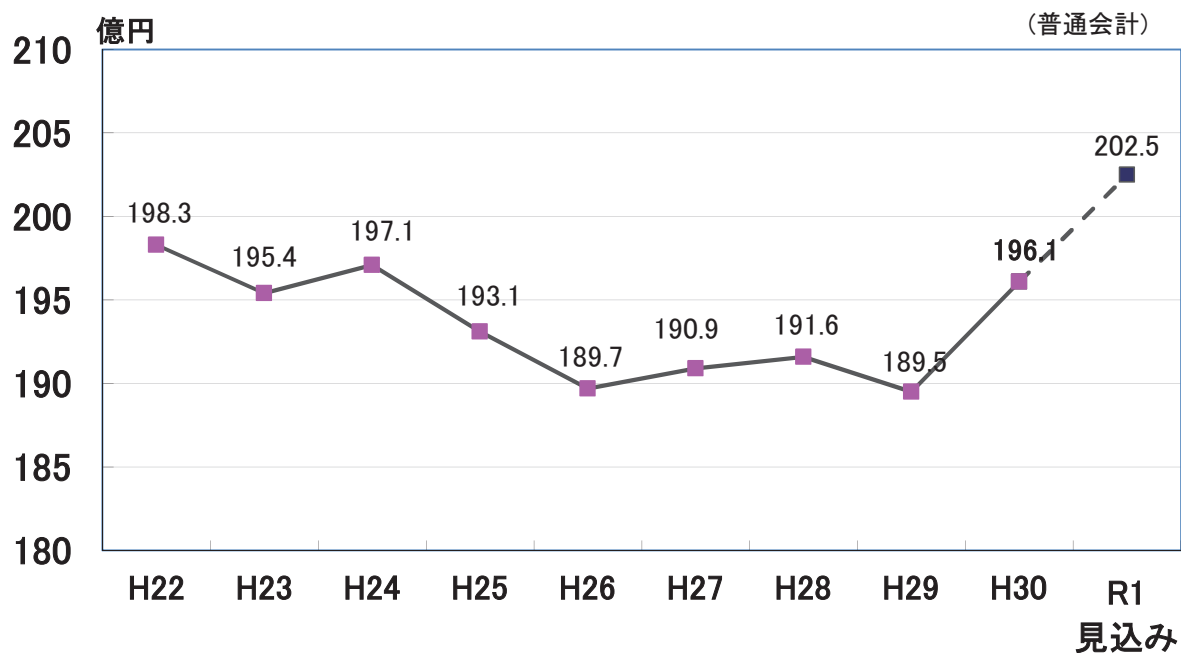
牧之原市 年度末 財政調整基金の推移



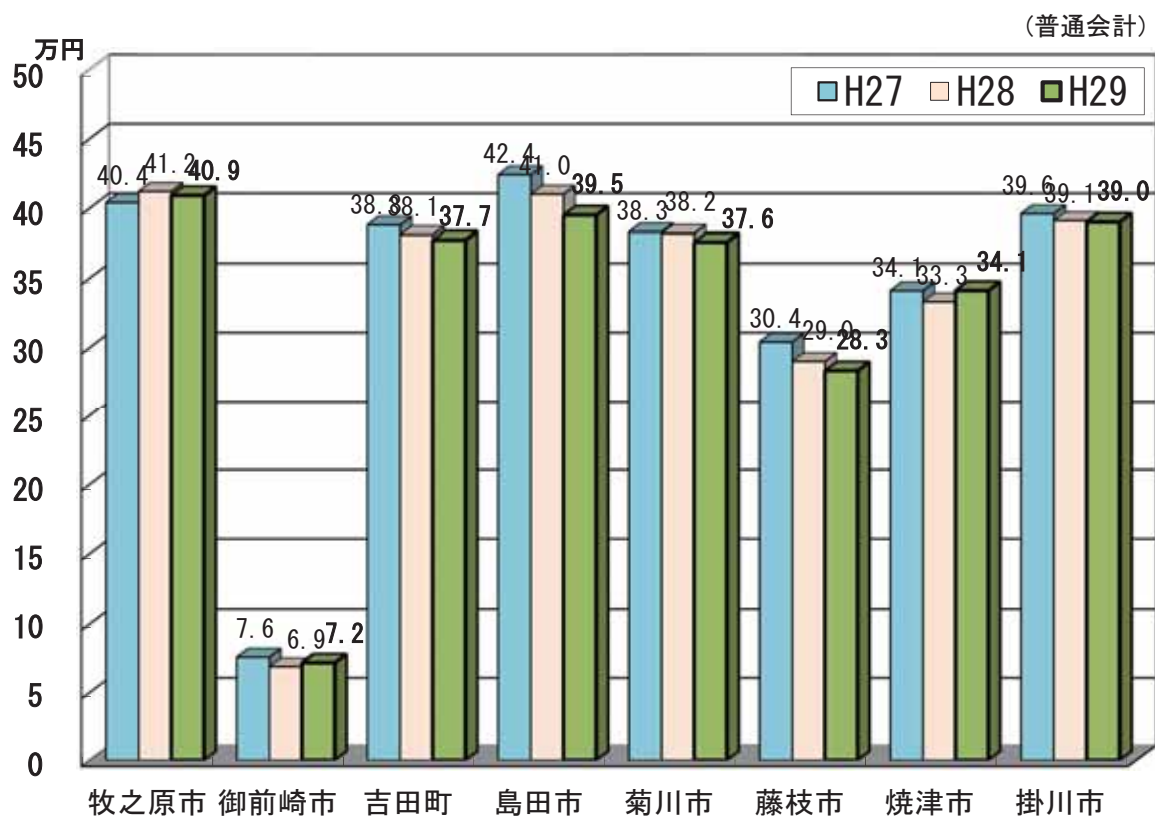
住民一人当たりの財政調整基金の額（平成27～29年度末）



牧之原市 年度末 市債残高の推移



住民一人当たりの借入残高(平成27～29年度末)



牧之原市の家計簿

※市の財政について、身近に感じていただくために、市の決算を家計簿に例えてみます。

～牧之原市の平成30年度決算を500万円の家計に例えると～

収入

給与	基本給（市税）	201万円（△ 8万円）
	諸手当（譲与税・交付金・国県支出金など）	173万円（△ 5万円）
	貯金の取り崩し（基金繰入金）	4万円（ 3万円）
	家賃収入（使用料・手数料など）	10万円（△ 2万円）
本親からの仕送り	親からの仕送り（地方交付税）	50万円（△ 8万円）
	生活資金の借入れ（臨時財政対策債）	14万円（ 5万円）
	家の増改築の借入れ（その他市債）	48万円（ 15万円）
合 計		500万円

支出

食費（人件費）	73万円（△ 5万円）
家族の医療費（扶助費）	67万円（△11万円）
ローンの返済（公債費）	52万円（△ 2万円）
家の増改築費（投資的経費・維持修繕費）	108万円（ 26万円）
友人への支援金（補助費等・投資出資金）	91万円（△ 5万円）
子供への仕送り（他会計への繰出金）	37万円（△ 4万円）
その他の生活費（物件費など）	72万円（ 1万円）
合 計	500万円

（ ）は前年比

（ ）は前年比

支出に関しては、食費や家族の医療費、友人への支援金、子どもへの仕送りが減少しましたが、家の増改築費が大幅に増加しました。収入では基本給や諸手当、親からの仕送りが減少したため、家の増改築費のための借入などをを行いました。今後はローンの返済が見込まれるため、家の増改築を計画的に行っていくことが必要となります。

◆今後の財政運営について

将来世代に過度な負担を残さないよう、次のような目標（方針）を設けて計画的な財政運営に努めていきます。

※表中の記号は、目標に対しての達成度を示します。

達成



もう一息



未達成



主な目標（方針）の内容	29年度決算	30年度決算
一般会計の市債残高が200億円を超えないように努めます。	189.5億円 	196.1億円 
毎年度の「プライマリーバランス」の黒字を維持します。 プライマリーバランスとは、歳入総額から市債額を差し引いた金額と、歳出総額から公債費を差し引いた金額のバランスをいう。 バランスが釣り合っているとは、税金など起債に頼らない収入によって、起債償還額を除いた歳出総額を賄えることを意味する。	14.1億円の黒字 	5.9億円の黒字 
「将来負担比率」の早期健全化基準350%未満を維持します。 将来負担比率とは、借金など将来支払うことが決まっている市全体の負債額が、1年間の収入総額に対してどのくらいの割合かを示したものです。	9.1% 	— % 
「実質公債費比率」の許可基準18%未満を維持します。 実質公債費比率とは、標準的な年間収入に対して市債等の返済額の占める割合を示したものです。	8.6% 	8.3% 
「財政調整基金」の残高30億円を目指します。	32.4億円 	32.4億円 

令和元年度牧之原市一般会計補正予算案（第 2 号）について

本予算は、今年度 2 回目の補正である。児童福祉施設等への防犯カメラの設置や 3 歳以上第 3 子以降の副食費の無償化による多子世帯支援、自主運行バス用のマイクロバスの購入、高齢者運転免許証自主返納支援事業助成金の創設、相良図書館の整備拡充による図書館機能の充実、物産センター直営期間延長に係る経費などが主な内容となっている。

補正額は、230,077 千円、率にして 1.1% の増となった。

（参考：平成 30 年 9 月補正額 232,240 千円の増額）

1 予算額

補正前予算	20,383,996 千円
補正額	230,077 千円
補正後予算	20,614,073 千円

2 補正予算の概要

(1) 歳入	230,077 千円	
地方交付税	6,676 千円	学校組合分
国庫支出金	27,057 千円	循環型社会形成推進交付金ほか
県支出金	△3,469 千円	緊急地震・津波対策等交付金ほか
繰越金	89,465 千円	
諸収入	54,452 千円	物産センター売上収入ほか
市債	38,800 千円	防災・減災・国土強靱化緊急対策ほか
その他	17,096 千円	財産収入、繰入金ほか
(2) 歳出	230,077 千円	
交通政策費	8,658 千円	マイクロバス購入
資産税課税事務費	11,828 千円	不動産鑑定料
高齢者福祉対策費	1,500 千円	運転免許証自主返納支援助成金
浄化槽推進費	25,844 千円	合併浄化槽設置補助金
茶業振興事業費	12,616 千円	乗用型摘採機等導入補助金
物産センター管理運営費	56,507 千円	直営期間の延長
図書館管理運営費	13,210 千円	相良図書館整備
防犯カメラ設置	18,875 千円	児童クラブ、小中学校ほか
副食費無償化	2,106 千円	収入減額（1,271 千円）含まず
その他	78,933 千円	防災広場整備、切山 22 号線復旧ほか

海水浴場等の入込状況について

本年の梅雨明けは 7 月 29 日で平年より 7 日、昨年より 19 日遅く、梅雨入りから 1 ケ月と 20 日間ほどの梅雨となり、平年よりやや長い梅雨となりました。これにより、海開き初日から天候に恵まれず、入込客数は昨年を大きく下回ることになりました。

梅雨明け後、天候に恵まれ気温も上昇したことにより、徐々に海水浴客が増え始め 8 月 5 日から 11 日までの 7 日間を駐車場無料として、海水浴客の増加をはかりましたが、台風 9 号・10 号により海が荒れ、遊泳危険・禁止となってしまったため海水浴客の増加にストップがかけられてしまいました。

ただ、県内各地で水難事故が相次ぎ、全県に水難事故防止多発警報が発令されているなかで、牧之原市海水浴場での死亡事故は平成 12 年以降無事故を継続しています。

1 入込状況

(1) 海水浴場入込客数

年 度	合 計 (前年比)	静 波 (前年比)	相 良 (前年比)
令和元年度	昨年度の 4 割程度の見込 8/31 閉場式の際、公表予定		
平成 30 年度	439 千人(-19)	318 千人(-7)	121 千人(-12)
平成 29 年度	458 千人(-107)	325 千人(-65)	133 千人(-42)
平成 28 年度	565 千人(28)	390 千人(18)	175 千人(10)
平成 27 年度	537 千人(159)	372 千人(106)	165 千人(53)

＜入込客数が伸び悩んだ要因＞

- ① 梅雨開けが例年より遅く、「天候不良」による気温や「海水温の低下」による海水浴客の出足が鈍った。
- ② お盆時期など、入込客数が期待される時期に、台風の影響により波が高く遊泳規制がかかった。

(2) 海水浴場市営駐車場駐車台数（＊大型・二輪車含む）

年 度	合 計 (前年比)	静 波 (前年比)	相 良 (前年比)
令和元年度	6,523 台(-9,932)	4,877 台(-8,228)	1,646 台(-1,704)
平成 30 年度	16,455 台(2,352)	13,105 台(2,229)	3,350 台(123)
平成 29 年度	14,103 台(-1,952)	10,876 台(-1,351)	3,227 台(-601)
平成 28 年度	16,055 台(581)	12,227 台(842)	3,828 台(-261)
平成 27 年度	15,450 台(5,743)	11,368 台(4,236)	4,082 台(1,507)

(3) 海水浴場駐車場市民無料利用券利用枚数

年 度	合 計 (前年比)	静 波 (前年比)	相 良 (前年比)
令和元年度	767 枚(-110)	584 枚(-175)	183 枚(65)
平成 30 年度	877 枚(103)	759 枚(93)	118 枚(10)
平成 29 年度	774 枚(-34)	666 枚(90)	108 枚(-124)
平成 28 年度	808 枚(236)	576 枚(133)	232 枚(103)
平成 27 年度	572 枚(158)	443 枚(96)	129 枚(62)

※「広報まきのほら」への無料券の他に、市民の運転免許証の提示による駐車場料金の無料を行い、市民の海水浴場利用の増加に繋がった。

(施策、イベント、行事等の名称)		問い合わせ先
牧之原市議会による田沼意次侯生誕 300 年に向けた取り組み (応援) について		牧之原市 議会事務局 担当：大塚 電話：0548-53-2650 (直通)
日 時	令和元年 9 月 2 日 (月)、10 月 3 日 (水) 午前 9 時 00 分から	
場 所	牧之原市役所 相良庁舎 4 階 議場 (相良 275 番地)	
主 催 者 又は担当課	牧之原市議会 (議会事務局)	
(内容)		
牧之原市では、田沼意次侯生誕 300 年を迎える本年 11 月、官民が協働し、「今こそ、田沼再興のとき」として市を挙げた記念大祭等の行事を実施することが決定しています。 牧之原市議会においても官民協働による取り組みやまちづくりの趣旨に賛同することを表すため、令和元年 9 月定例会において、下記の取り組みを行います。 ① 9 月定例会初日 (9 月 2 日) 及び最終日 (10 月 3 日) において、田沼家の家紋である七曜紋をイメージした法被を着用します。 ※議員及び市長以下議会への出席者全員が着用します。 ② 初日 (9 月 2 日) に、市議会として生誕 300 年に向けた応援を宣言します。 ③ 生誕 300 年記念行事等へ積極的に参加します。 ④ 田沼意次侯の功績を全国へ P R し、情報発信に努めます。		
(添付資料)		
牧之原市議会による田沼意次侯生誕 300 年に向けた宣言 (案)		

牧之原市議会による田沼意次侯生誕 300 年に向けた宣言（案）

本年は、遠州相良藩の初代藩主として牧之原市を中心とした地域を治めていた田沼意次侯の生誕から 300 年となる節目の年を迎えます。

江戸時代中期、幕府の老中を務めた田沼意次侯は、幕府財政の再建に尽力し経済発展の礎を築いた稀代の政治家として再評価されていますが、藩主として、相良城の築城や藤枝宿を結ぶ田沼街道の整備といったインフラの充実、平田寺や大江八幡宮といった寺社の保護を積極的に行ったことから、現在の牧之原市の経済や文化の基盤を確立した地元の名君、郷土の偉人です。

牧之原市及び田沼意次侯生誕 300 年祭記念事業実行委員会（以下「実行委員会」という。）は、「今こそ、田沼再興のとき」として田沼再興戦略を掲げ、官民協働で市民意識・誇りの醸成、地域の活性化、シティプロモーションの一環としての情報発信等を推進することで魅力あるまちづくりに取り組んでいます。

牧之原市議会は、牧之原市や実行委員会が一体となって取り組んでいる田沼意次侯を活かしたまちづくりの趣旨に賛同し、令和元年 9 月定例会において、田沼家の家紋をイメージした法被を着用します。

また、来年度以降も田沼意次侯に市のシティプロモーションの一翼を担っていただき、全国に牧之原市を継続的に P R してもらうための積極的な政策提言を行うことで、牧之原市議会として更なる機運醸成や啓発に取り組んでいくことを宣言いたします。

令和元年 9 月 2 日

牧 之 原 市 議 会

田沼家菩提寺勝林寺交流事業について

1 趣旨

田沼意次侯（1719-1788）は、江戸時代中期に幕府の側用人・老中として様々な政策を実行し、田沼時代と呼ばれる大変華やかな時代を作り出した日本を代表する人物です。また、牧之原市を中心に最大で 5 万 7 千石の領地を持ち、相良城の建設や城下町の整備、殖産興業を推進し、牧之原市の基礎を築いた郷土の偉人でもあります。

そこで、田沼意次侯生誕 300 年を記念して、田沼家菩提寺である勝林寺を会場に市史料館の収蔵品を展示し、東京の人々に対して意次侯の顕彰活動を実施します。

2 概要

名 称 牧之原市史料館出張展示「田沼家ゆかりの遺宝」
日 時 令和元年 9 月 23 日（月・祝） 10 時 00 分～15 時 00 分
会 場 勝林寺（東京都豊島区駒込 7-4-14）
入場料 無料
展示品 16 点（予定）

3 主な展示品



—田沼意次侯肖像画—



—田沼意次侯領内遠望図—

4 ぶらり田沼の旅 in 東京 — 意次侯のお墓参りと美術館・博物館めぐり —

日 時：令和元年 9 月 23 日（月・祝） 7 時 00 分～19 時 30 分
見学場所：勝林寺（田沼家菩提寺）、江戸東京博物館、貨幣博物館
対 象 者：牧之原市内に在住または在勤する人
募集人員：40 名（先着順）※参加費 2,980 円
申込開始：9 月 3 日（火）午前 8 時 30 分～ ※ 電話または社会教育課窓口で受付

(施策、イベント、行事等の名称)		問い合わせ先 牧之原市企画政策部地域振興課 担当： 空港交通係 増田 電話：0548-23-0041（直通）
田沼街道を走る藤枝相良線沿線の風景写真コンテスト		
日 時	令和元年 8 月 13 日（火）から令和 2 年 2 月 28 日（金）	
場 所	—	
主 催 者 又は担当課	地域振興課	
<u>1 目的</u> 牧之原市から吉田町、焼津市、藤枝市を走る路線バス「藤枝相良線」は、田沼意次侯が相良藩主の時代に整備した「田沼街道」を走るバスである。 今回の田沼意次侯生誕 300 年大祭を機に、田沼意次侯の顕彰及び藤枝相良線の利用促進を目的に、藤枝相良線沿線の美しい風景写真を募集し、沿線地域の魅力を発信することで藤枝相良線を PR する。 <u>2 コンテスト概要 ※別紙チラシ参照</u> (写真) ① 藤枝相良線のバス停から概ね徒歩 15 分以内の風景とする。 ② 撮影日は平成 30 年 8 月 1 日以降のものとする。 (提出方法) ① 作品は写真プリントまたはインクジェットプリンターでプリントした A4 サイズにて提出。 (募集期間) 令和元年 8 月 13 日（火）から令和 2 年 2 月 28 日（金）まで (受賞内容) ① 最優秀賞・・・1 点 ② 市内風景特別賞・・・2 点 ③ 市外風景特別賞 ・・・2 点 ④ 田沼特別賞（田沼にゆかりのある風景）・・・2 点 (発表方法) ① 3 月に審査、展示を予定 <u>3 藤枝相良線の概要</u> ・相良営業所と藤枝駅を結び、牧之原市、吉田町、焼津市、藤枝市を運行する片道 24.6 k m の路線。 ・現在の主な利用は、藤枝駅からの通勤や清流館高校の通学に利用されている。		
(添付資料)		
・ チラシ		

田沼意次侯生誕300年記念事業 田沼街道を走る藤枝相良線沿線の 風景写真コンテスト

～バスで探そう最高の景色～



牧之原市から吉田町、焼津市、藤枝市を走る路線バス「藤枝相良線」。実は、田沼意次侯が相良藩主の時代に整備した「田沼街道」を走っているバスなのです。

今回の田沼意次侯生誕300年大祭を機に、田沼意次侯の顕彰及び藤枝相良線の利用促進を目的に、藤枝相良線沿線の美しい風景写真を募集します。有名な観光名所だけでなく、あまり知られていない隠れた風景でも結構です。沿線地域の魅力を発信することが、藤枝相良線の利用促進に繋がります。

あなたのおききの写真で地域を盛り上げましょう。

令和2年

2月28日

(金)まで



田沼意次とは

遠州相良藩の6代藩主。相良城を築城するとともに、江戸幕府老中として幕府の財政悪化を食い止めるべく株仲間の結成や、蝦夷地開墾、外国との貿易拡大など重商主義政策を進めた。牧之原市史料館には、意次ゆかりの文化財が多数展示されている。



田沼街道

東海道の藤枝宿（藤枝市）と相良城（牧之原市）とを結ぶ

約28kmの街道。江戸時代中期、相良城の築城を命じられて城主となった意次により、相良城から東海道藤枝宿まで、かねてよりあった既存の下街道や浜街道をもとに拡幅改修して整備された。



バス停はこの路線図で示した以外にもあります。詳細な路線図、運賃、時刻表はしずてつジャストライン HP をご覧ください。

静鉄バス

検索

募集要項は裏面をご覧ください。

主催 牧之原市企画政策部 地域振興課
TEL 0548-23-0041
FAX 0548-23-0059
メール kikaku@city.makinohara.shizuoka.jp

募 集 要 項

沿線の風景なら

何でも OK!

(写真)

- ① 藤枝相良線のバス停から概ね徒歩 15 分以内の風景とします。
- ② 撮影日は平成 30 年 8 月 1 日以降のものとしてします。

(提出方法)

- ① 作品は写真プリントまたはインクジェットプリンターでプリントした A4 サイズに限ります。
- ② 郵送又は持参で提出してください。
郵送：〒421-0495 牧之原市静波 447-1 牧之原市役所地域振興課宛て
持参：上記住所の榛原庁舎 5 階 地域振興課まで
- ③ 下の申込申請書を記入の上、提出してください。

(募集期間)

令和元年 8 月 13 日（火）から令和 2 年 2 月 28 日（金）まで

(受賞内容)

- ① 最優秀賞・・・1 点
- ② 市内風景特別賞・・・2 点
- ③ 市外風景特別賞・・・2 点
- ④ 田沼特別賞（田沼にゆかりのある風景）・・・2 点

受賞者には市内商品券など素敵なプレゼントがあります！

受賞作品は、後日、市に画像データを提供させていただきます。

(発表方法)

- ① 3 月に審査、展示を予定しており、応募された方には通知させていただきます。
- ② 賞品は後日発送いたします。

(応募上の注意)

- ① 応募作品は 1 名につき 3 点までとします。
- ② 応募書類の権利は撮影者に帰属し、市は応募作品をチラシ等に使用する権利を有します。
- ③ 応募作品は未発表のもので、その他のコンテストなどに未発表のものに限ります。
- ④ 応募作品は応募者本人が撮影し、全ての著作権を有しているものに限ります。
- ⑤ 被写体が人物の場合、ご応募に際しては、必ずご本人の承諾をいただってください。
- ⑥ 他人の著作権、肖像権を侵害するような行為が行われた場合、そのトラブルの責任は一切負いかねます。
- ⑦ 入賞決定後に違反が判明した場合は、入賞を取り消しさせていただく場合があります。
- ⑧ 応募作品は返却致しませんのでご了承ください。
- ⑨ 申込申請書の個人情報は、商品発送等のために使用しますが、お名前は展示時に公表させていただきます。

申込申請書

名前	(ふりがな)
住所	
連絡先 (☎)	
作品タイトル	
撮影年月	
撮影場所 (目印)・最寄バス停	
バス停からの距離	徒歩 分

(施策、イベント、行事等の名称) ～世界にひとつだけの花を咲かそう～ 「育種寺子屋 まきのはら校」発表会・閉校式について		問い合わせ先 牧之原市 建設部 都市計画課 担当：大石 電話：0548-53-2633 （直通）
日 時	令和元年9月29日（日）午前10時50分から午後12時00分まで	
場 所	カタショー・ワンラボ 2階 204会議室（旧片浜小）	
主 催 者 又は担当課	主催 牧之原市花の会・牧之原市 後援 牧之原市教育委員会 協力 株式会社マキノハラボ・みらい子育てネット牧之原	
目 的	子どもたちが花を育てる楽しさや喜びをとおして命あるものを大切にする心を育て、生活の中にゆとりや優しさを感じることでできる環境づくりをすすめるとともに花と緑にあふれた街を目指す。	
実施内容	5月に開校した第2回育種寺子屋まきのはら校が最終回を迎えます。 ペチュニアの交配から始まり、前回（4回実施）まで「世界にひとつだけの花」を育ててきました。 参加児童が育てた個性豊かなペチュニアを発表し、講師一つ一つのペチュニアについて講評を行います。	
会 場	カタショー・ワンラボ（旧片浜小学校）	
講 師	矢澤 秀成 氏（草花育種家 長野県北佐久郡軽井沢町在住）	
参 加 者	小学生16人、保護者、花の会	
講師プロフィール	育種家・園芸研究家 やざわ花育種株式会社所属 NHK-ETV「趣味の園芸」、SBC ラジオ生放送などの園芸番組の講師として出演中。 育種寺子屋は16年前から全国各地で行っており、全国の5,000名を超える小学生がこの授業を受けている。 牧之原市では昨年から。本年度は2年目となる 	
(添付資料)		





みんなの作品展示

絵画・水墨画・書道・掛け軸
短歌・写真・手芸・生け花・盆栽
活動写真展示・・・等
【9:30～15:00】



みんなの芸能発表

民謡・舞踊・ダンス・カラオケ
コーラス・体操・・・等
【9:30～12:00】



おたのしみコーナー

ヨーヨーつり・ストラックアウト
もぐらたたき・お菓子つかみ
ダンボール迷路等 【9:30～14:00】



出店コーナー

新鮮農産物・手作り漬物・味噌
こんにゃく・まんじゅう・甘食
カップケーキ・ジュース・陶器
縫製品・焼き菓子・花寄せ植え
【9:30～14:00】



おたのしみ抽選会

抽選会開始予定時間：14:30～
当日、抽選開始時間前にい〜らホール
内にお入りください。
（※抽選券を配布します。）



※催事内容・開催時間・販売物品等については、都合により変更となる場合があります。ご了承ください。

【協力団体の皆様（予定を含みます。）】

榛原地区生涯学習セミナー・牧之原市人権擁護委員会
生涯学習推進ボランティア「スマイル」・さがら作業所
こづつみ作業所・第2こづつみ作業所・相良おはよう市・萩の里
牧之原市健康づくり 食生活推進協議会・すすき幼稚園
牧之原市緑化推進協議会 牧之原市花の会（順不同）

【主催／牧之原市公民館主事連絡会】

相良・波津第1ブロック・波津第2ブロック・波津第3ブロック
波津第4ブロック・福岡・須々木・大沢・大江・片浜・菅山
中里・白井・神寄・西萩間・東萩間・牧之原・地頭方・落居
豊岡・新庄・遠渡 <各地区公民館>

【問い合わせ：社会教育課 片浜事務所】

TEL : 0548-52-0311 FAX : 0548-52-5840

中央

—第45回—



い〜ら



9月8日(日)

午前9時30分～午後3時

会場

相良総合センターい〜ら



(施策、イベント、行事等の名称)		問い合わせ先 牧之原市健康推進部健康推進課 担当：山本 電話：0548-23-0024（直通）
日 時	令和元年 9 月 10 日（火）午前 10 時 30 分から午前 11 時 30 分まで	
場 所	スーパーカネハチ榛原店 店頭	
主 催 者 又は担当課	牧之原市健康推進部健康推進課	
1 内容 9 月 10 日から 9 月 16 日までの 7 日間は全国自殺予防週間です。 市では、昨年度「いのち支える牧之原市自殺対策計画」を策定しました。 今回は、市が実施する自殺対策について市民に広く広報するため、買い物に来られた方に啓発物を配布する街頭キャンペーンを実施します。このキャンペーンを通して、“悩んだ時に一人で抱え込まず、誰かに S O S を発信することの大切さ”を周知します。 自殺対策ネットワーク会議委員（外部機関）にも協力を依頼しており、行政だけでなく、民間企業も巻き込んで周知することが、今回のキャンペーンの特徴です。 2 キャンペーンについて (1) 参加者 健康推進課職員、静岡県中部保健所職員、自殺対策ネットワーク会議委員数名 (2) 配布物（予定） ・ポケットティッシュ、ストレスチェックカード、簡易うつ自己チェック表、こころとねむりの相談カード、相談先一覧表、ゲートキーパー養成講座のちらし、広報まきのはら 7 月号特集記事、自殺予防週間についてのちらし ※ゲートキーパーとは、悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聞いて、必要な支援につなげ、見守る人		
(添付資料)		

(施策、イベント、行事等の名称) ハンセン病写真パネル展『するが』 ～富士のすそ野に生きて～		問い合わせ先 牧之原市福祉こども部社会福祉課 担当：地域福祉係 佐藤 電話：0548 - 23 - 0070（直通）
日 時	令和元年9月5日（水）午後1時～9月13日（金）午前11時 （展示時間中は 午前8時30分～午後5時）	
場 所	牧之原市役所 榛原庁舎2階 市民ラウンジ	
主 催 者	主催：動物介在活動ぷらす 後援：牧之原市（社会福祉課）	
(内容) ハンセン病写真パネル展「『するが』 ～富士のすそ野に生きて～」の開催について		
1 概要 【経緯】 ハンセン病のことを全くご存じない人にも関心を持っていただこうと、昨年、国立ハンセン病資料館と日本財団で開催された写真展を大きく啓発内容にリニューアルして巡回しています。 この企画展を契機とし、「ハンセン病について知って頂くこと」から始め、今一度ご自身を振り返る機会にしてほしい、という主催：動物介在活動ぷらすの思いがあり、開催に至りました。 【過去の開催地】 三島市、富士市、沼津市、伊東市		
2 協力団体 「THINK NOW ハンセン病」キャンペーン／日本財団／国立ハンセン病資料館／国立駿河療養所／復生記念館／写真家 黒崎彰／牧之原市役所／牧之原市立榛原図書館／Special thanks／回復者のみなさま		
(添付資料) ・ ・		

2020 年東京五輪事前キャンプ等に関する USA サーフィンとの協定締結について (牧之原市役所情報交流課)

- 1 概 要 2020 東京五輪事前キャンプに関して牧之原市及び下田市は、「アメリカ合衆国 USA サーフィン（以下、USA サーフィンという。）と代表選手の事前キャンプ及び五輪後の交流について、以下のとおり協定を締結します。なお、この協定は 2018 年 2 月 26 日に締結した「基本合意書」に基づき、費用負担等について定めるものです。
- 2 締 結 日 2019 年 9 月 16 日（月・祝）午後 6 時 00 分～午後 6 時 30 分
＊締結式終了後、歓迎交流会を予定しています。
- 3 会 場 牧之原市内（静波スウィングビーチ）＊変更となる場合があります。
- 4 締 結 者 アメリカ合衆国 USA サーフィン CEO グレッグ クルーズ 氏
USOC 東京駐在員 ジョン 大森 氏
下 田 市 福井 祐輔 市長
牧之原市 杉本 基久雄市長
- 5 協定内容 ・対象となる事前キャンプ及び事後交流の期間、人数等
・費用負担等
- 6 そ の 他 ・グレッグ CEO は宮崎市木崎浜海岸で開催されるワールドサーフィンゲームス（WSG：世界選手権 9/7-9/15）終了後、富士山静岡空港経由で牧之原市を訪問することになっています。
・上記 WSG において USA サーフィンは男女個人及び団体ともメダルが有力視されており、凱旋訪問になることを期待しています。
・選手（男女各 3 名）については、日程の調整が難しく、今回は訪問しません。
- 7 問 合 せ 牧之原市役所情報交流課 情報交流係 大石・桑田 0548-23-0040



【2018 年 2 月 基本合意書締結式】

(施策、イベント、行事等の名称)		問い合わせ先 牧之原市教育文化部 スポーツ推進室 担当：田村 電話：0548-53-2643（直通）
第 15 回全日本大学フットサル大会優勝の凱旋訪問		
日 時	令和元年 8 月 26 日（月） 午後 2 時～（定例記者懇談会終了後）	
場 所	牧之原市役所榛原庁舎 5 階応接室	
主 催 者 又は担当課	スポーツ推進室	
(内容)		
以下の者が下記のとおり全国大会で優秀な成績を収め、凱旋訪問します。 表 敬 者： 木村 芳之（きむら よしゆき）（多摩大学 3 年）（牧之原市出身） 出場大会：第 15 回全日本大学フットサル大会 大会期日：令和元年 8 月 23 日～25 日 開 催 地：大阪府 岸和田総合体育館 出場経緯：第 15 回全日本大会フットサル大会関東大会 優勝 大会結果：第 15 回全日本大学フットサル大会優勝		
(添付資料)		